

2021年度

事業計画及び収支予算書

2021年4月 1日から
2022年3月31日まで

公益財団法人 日本体操協会

2021年度事業計画

公益財団法人 日本体操協会

I 事業方針

当協会は「体操」・「新体操」・「トランポリン」・「アクロ体操」・「一般体操」・「パルクール」の各種目を統括するとともに、体操全体の振興と普及奨励を図り、依って国民の心身の健全な発展に寄与することを基本方針としている。

～スローガン～「順応力と適応力」

7月には延期された東京オリンピックの開催、10月には初の同時期開催、同都市開催となる体操と新体操の世界選手権大会が開催予定です。今後もコロナ禍での活動が続きますが、オリンピックはもちろん、その後も環境に順応し、状況に適応した対策と行動を取り未来につなげるようにしてまいります。

～2021年度の大会目標～

東京2020五輪	男子体操	団体総合金メダル及び個人種目金メダル獲得
	女子体操	団体総合、個人総合、種目別にてメダル1つ以上獲得
	新体操	団体総合メダル獲得、個人総合入賞
	男子トランポリン	個人メダル獲得
	女子トランポリン	個人メダル獲得
世界選手権	男子体操	複数の金メダル獲得
	女子体操	個人総合、種目別にてメダル2つ以上獲得
	新体操	団体種目別メダル獲得、個人総合トップ10入り
	男子トランポリン	個人、団体、シンクロナイズド競技でのメダル獲得
	女子トランポリン	個人、団体、シンクロナイズド競技でのメダル獲得

II 公益目的事業の事業内容

1. 国際貢献事業 【定款第4条第1項2号】

(1) 国際機関への人材派遣及び国際会議・国際交流への参加

- ・現在、当協会から国際体操連盟(FIG)に5名、アジア体操連盟(AGU)に6名の役員を送り込んでおり、それぞれ、総会・理事会・評議員会・技術委員会等への参加により、世界最先端の情報を把握し、各強化本部等へフィードバックするなど国際関係の交流等に役立っている。
- ・「東京2020オリンピック」開催に伴い、外務省、スポーツ庁の国際交流事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」として、従来より、海外からの役員・コーチ・選手等の積極的な受入合宿等を実施している。
- ・オリンピックソリダリティ東京2020プログラムとして、先進途上国の選手の強化支援を通じてスポーツ貢献を目指す。
- ・外務省事業による海外NF幹部の日本受入、日本人コーチの海外派遣・機械・器具譲渡等も積極的に取り組んでいる。
- ・本年11月には、FIG役員選挙が予定されている。

2. 競技力向上・選手派遣事業 【定款第4条第1項5、7号】

(1) オリンピック、ワールドユニバーシティゲームズへの派遣※ JOC

種 別	期 日	大 会 名	開催場所	
体・新・ト	7/18 ～ 8/8	第32回オリンピック競技大会	日本	東京
体・新	8/16 ～ 8/22	FISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)	中国	成都

(2) アジア選手権・世界選手権大会への派遣※ JGA

種 別	期 日	大 会 名	開催場所	
体操男子 (一般)	5/26 ～ 6/2	第9回アジア体操競技選手権大会	中国	杭州
	10/10 ～ 10/27	第50回世界体操競技選手権大会	日本	北九州
体操女子 (一般)	5/12 ～ 5/19	第9回アジア選手権大会	中国	杭州
	10/17 ～ 10/24	第50回世界体操競技選手権大会	日本	北九州
新体操 (一般)	6/8 ～ 6/10	第12回アジア選手権大会	中国	杭州
	10/26 ～ 10/31	第38回世界新体操選手権大会	日本	北九州
トランポリン (一般)	2021年5月予定	第5回アジア選手権大会	中国	杭州
	11/13 ～ 11/23	第35回世界選手権大会	アゼルバイジャン	バクー
	11/6 ～ 11/16	第35回世界選手権大会(タンブリング)	アゼルバイジャン	バクー
トランポリン (ジュニア)	11/22 ～ 12/1	第28回世界年齢別大会	アゼルバイジャン	バクー
	11/13 ～ 11/24	第28回世界年齢別大会(タンブリング)	アゼルバイジャン	バクー
アクロ (ジュニア)	5/18 ～ 5/26	第11回世界年齢別競技大会	ポルトガル	マイアミ

(3) 国際競技会への派遣(主要大会のみ)

種 別	期 日	大 会 名	開催場所	
体操男子 (一般)	2021年9月予定	CCパリ大会	フランス	パリ
	2021年11月予定	スイスカップ	スイス	未定
	2021年11月予定	WCコトブス大会	ドイツ	コトブス
	2022年2月予定	スタンフォード・カレッジオープン	アメリカ	シュツットガルト
	2022年3月予定	WCアメリカ大会	アメリカ	未定
	2022年3月予定	WCドイツ大会	ドイツ	シュツットガルト
	2022年3月予定	WCイギリス大会	イギリス	未定
	2022年3月予定	WCバクー大会	アゼルバイジャン	バクー
	2022年3月予定	WCドーハ大会	カタール	ドーハ
	2022年3月予定	DTBチームカップ	ドイツ	シュツットガルト
体操男子 (ジュニア)	11/23 ～ 11/28	フューチャーカップ	オーストリア	リンツ
	11/22 ～ 11/28	ボローニンカップ	ロシア	ペンザ
	1/24 ～ 1/30	リューキンカップ	アメリカ	テキサス
	3/7 ～ 3/13	AGF Trophy	アゼルバイジャン	バクー
	11/20 ～ 11/28	アジアユースゲームズ	中国	シャントウ
体操女子 (一般)	未定	WCコトブス大会(種目別)	ドイツ	コトブス
	未定	WCメルボルン大会(種目別)	オーストラリア	メルボルン
	未定	WCバクー大会(種目別)	アゼルバイジャン	バクー
	未定	WCドーハ大会(種目別)	カタール	ドーハ
	未定	WCアメリカ大会(個人総合)	アメリカ	未定
	未定	WCドイツ大会(個人総合)	ドイツ	シュツットガルト
	未定	2021DTBチームカップ	ドイツ	シュツットガルト
	未定	スイスカップ&アーサー・ガンダー杯	スイス	未定
体操女子 (ジュニア)	未定	イタリア国際	イタリア	未定
	未定	カナダ国際	カナダ	未定
	未定	ボローニンカップ	ロシア	モスクワ
	未定	アジアユース選手権	中国	シャントウ
新体操 (一般)	4/12 ～ 4/18	W杯タシケント大会	ウズベキスタン	タシケント
	5/5 ～ 5/9	W杯バクー大会	アゼルバイジャン	バクー
	5/26 ～ 5/30	W杯ペサロ大会	イタリア	ペサロ
	5/19 ～ 5/23	WCCボルチマン大会	ボルトガル	ボルチマン
	6/23 ～ 6/27	WCCクルジュナボカ大会	ルーマニア	クルジュナボカ
	6/30 ～ 7/4	WCCミンスク大会	ベラルーシ	ミンスク
	7/5 ～ 7/11	WCCモスクワ大会	ロシア	モスクワ
	未定	モスクワグランプリ	ロシア	モスクワ
	未定 ～	W杯ソフィア大会	ブルガリア	ソフィア
新体操 (ジュニア)	10/8 ～ 10/10	第18回新体操アジアジュニア選手権	モンゴル	ウランバートル
トランポリン (一般)	5/30 ～ 6/7	WCブレスシア大会	イタリア	ブレスシア
	6/21 ～ 6/29	WCコインブラ大会	ポルトガル	コインブラ
	6/22 ～ 6/29	WCコインブラ大会(ダンブリング)	ポルトガル	コインブラ
アクロ (ジュニア)	6/30 ～ 7/7	カルガリー国際アクロカップ 2020	スイス	ジュネーヴ
	2022年3月予定	第15回 マイア・インターナショナルアクロカップ	アゼルバイジャン	未定

(4) 国内・海外合宿等

- ・体操男女・新体操・トランポリン各競技種目において、ナショナル強化指定選手を中心としてジュニアを含め、NTC・JISSを中核拠点として、必要な時期に国内外合宿を実施する予定。
- ・ジュニアの体操男女・新体操については、JOCの助成事業『日韓交流事業』として日本及び韓国にて合宿を予定している。(体操男女・新体操ジュニア 計29名の規模:11月予定)

3.講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

(1) 審判講習会(審判委員会)

種 別	研修会・講習会名	期 日	開催場所
体操男子	1種審判員伝達研修会	2022/1/22 ～ 2022/1/23	東京
	1種審判員伝達研修会	2022/1/29 ～ 2022/1/30	東京+3地区
	全国代表審判員研修会/ルールクリニック	2022/2/26 ～ 2022/2/27	未定
体操女子	1種審判員伝達研修会(東日本)	2022/1/23 ～ 2022/1/24	味の素NTC
	1種審判員伝達研修会(西日本)	2022/1/29 ～ 2022/1/30	味の素NTC
	ルールクリニック	2022/1/26	未定
	全国代表審判員研修会	2022/1/27	未定
新体操	1種審判員伝達研修会	2022/2/4 ～ 2022/2/6	東京・名古屋・福岡
トランポリン	1種審判員伝達研修会	2022/2/12 ～ 2022/2/13	東京都港区

(2) 各種研修会(コーチ育成委員会)

種 別	研修会・講習会名	期 日	開催場所
体操(男女)	公認コーチ養成講習会(専門科目)	2021/12/22 ～ 2021/12/27	未定
新体操	公認コーチ3講習会(専門科目)	2021/12月中旬	未定
トランポリン	公認コーチ養成講習会(専門科目)	2021/12/22 ～ 2021/12/26	未定

(3) 器械・器具検定事業

検定種別		加盟社数
・検定品登録会社検定		7 社
(内訳)	1種	1 社
	2種	5 社
	3種	1 社

4. 競技会等開催事業 [JGA主催] 【定款第4条第1項6,8,9,15,18号】

(1) 国内競技会

種 別	期 日	大 会 名	開催場所	
体操競技	4/15 ～ 4/18	体操天皇杯第75回全日本体操個人総合選手権	群馬県	高崎アリーナ
	5/15 ～ 5/16	第60回NHK杯体操	長野県	長野市
	6/5 ～ 6/6	第75回全日本体操種目別選手権	群馬県	高崎アリーナ
	12/11 ～ 12/12	第73回全日本体操競技団体選手権大会	東京都	国立代々木競技場第一体育館
新体操	5/1	新体操日本代表選考会	群馬県	高崎アリーナ
	5/8	READY STEADY TOKYO 体操(新体操) ユニバーシアード競技大会代表選考会(団体)	東京都	有明体操競技場
	5/21 ～ 5/23	第19回全日本新体操ユースチャンピオンシップ、第12回男子新体操団体選手権	群馬県	高崎アリーナ
	1/12 11/14	第39回全日本ジュニア新体操選手権大会	群馬県	高崎アリーナ
	11/26 ～ 11/28	第74回全日本新体操選手権大会	群馬県	高崎アリーナ
トランポリン	5/8 ～ 5/9	第8回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会	群馬県	ヤマト市民体育館前橋
	7/10 ～ 7/11	第19回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会	静岡県	静岡産業大学
	7/16 ～ 7/18	第7回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会	福島県	宝来屋郡山総合体育館
	10/2 ～ 10/3	第58回全日本トランポリン競技選手権大会	大阪府	総合体育館ひまわりドーム
	3/5 ～ 3/6	第9回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会	静岡県	静岡産業大学
一般体操	1/16	2021日本体操祭	東京都	国立代々木競技場第一体育館
アクロ	未定	第30回全日本アクロ体操選手権大会	未定	

(2) 国際競技会

種 別	期 日	大 会 名	開催場所	
体操競技	10/18 ～ 10/24	第50回世界体操競技選手権大会	福岡県	北九州総合体育館
新体操	10/27 ～ 10/31	第38回世界新体操選手権大会	福岡県	西日本総合展示場新館

(3) 地域関連事業

- ・地域の人材育成を目的としたビジネススクールの取り組み
- ・U-12佐賀大会の開催と次世代の日本を代表する選手の発掘
- ・障害者(児)に対する体操競技の普及発展(障害者(児)が参加可能な体操クラブの普及)
- ・各加盟団体主催の大会開催地に関して、5年先の会場確保を前提に調整(三重国体の運営・調整)
- ・地域でのJGA登録人数の拡充

(4) 体操スクール事業

- ・体操及び社会体育の普及、振興を目的とした体操教室の運営。
- ・会員数約150名、2歳より中学生まで年齢別のクラス編成とし、3学期制で運営。
- ・課外事業として、キャンプ教室、体操教室、水泳教室、スキー教室、日帰り遠足等を実施する。
- ・オリンピックとの交流を通じて組織拡大へのアプローチを図る。

5. 顕彰事業 【定款第4条第1項13号】

- ・毎年度、次の内容を『協会三賞』として、年度末に表彰を行なう。

名 称	顕彰内容
平沼賞	長年にわたり、極めて顕著な功績のあった者及びオリンピック大会、世界選手権大会の個人総合で優勝した者に贈る。
功労賞	長年にわたり、本会の発展に尽くし、著しく功績のあった者に贈る、
栄光賞	国際競技会または本会主催の競技会で特に優秀な成績を収めた者に贈る。

- ・年間優秀選手等表彰
最優秀選手賞、優秀選手賞、優秀指導者賞および特別賞を授与する。

Ⅲ 収益事業

1. マーケティング事業 【定款第4条第1項17項】

財政基盤の確立を図るために行う様々なマーケティング活動を展開する。

- ① オフィシャルサプライヤー契約
- ② オフィシャルパートナー契約
- ③ オフィシャルスポンサー契約
- ④ その他

2. 出版物販売事業 【定款第4条第1項16項】

各種競技の採点規則をはじめ、下記の出版物等を刊行・販売を行なう。

- ① 体操競技: 男女体操競技採点規則、男女ジュニアトレーニングマニュアル他
- ② 新体操: 男女採点規則、新体操教本、ステップアップ新体操他
- ③ トランポリン採点規則、トランポリンコーチ教本、公認トランポリン普及指導員教本
- ④ その他 審判バッジ、協会カレンダー、新体操大会DVD他

以上

2021 年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

公益財団法人日本体操協会
(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I. 経常増減の部			
1. 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 登録料収入	56,260,000	63,400,000	▲ 7,140,000
③ 事業収入	983,918,370	1,076,995,000	▲ 93,076,630
研修・講習会等収入	65,129,000	74,685,000	▲ 9,556,000
協賛金収入	503,190,000	598,150,000	▲ 94,960,000
刊行物収入	20,000,000	22,000,000	▲ 2,000,000
用具公認検定料	5,600,000	6,100,000	▲ 500,000
入場料収入	120,861,700	68,500,000	52,361,700
広告料収入	5,867,600	6,085,000	▲ 217,400
放映権収入	186,736,670	213,907,000	▲ 27,170,330
参加料収入	45,424,400	47,140,000	▲ 1,715,600
物品・プログラム収入	2,809,000	7,025,000	▲ 4,216,000
入会金・月会費収入	28,300,000	33,403,000	▲ 5,103,000
④ 補助金等収入	794,588,000	388,737,000	405,851,000
JOC選手強化NF事業	279,366,000	210,526,000	68,840,000
スポーツ振興基金助成金	9,000,000	30,000,000	▲ 21,000,000
スポーツ振興くじ助成金	404,722,000	44,211,000	360,511,000
JSC次世代ターゲット事業	84,000,000	84,000,000	0
文部科学省 IF役員支援	17,500,000	20,000,000	▲ 2,500,000
⑤ 交付金収入	1,254,500,000	102,200,000	1,152,300,000
JOC選手強化交付金	37,000,000	80,000,000	▲ 43,000,000
上月財団	4,000,000	5,000,000	▲ 1,000,000
ミズノスポーツ振興財団	1,000,000	2,000,000	▲ 1,000,000
三菱養和会	1,000,000	1,000,000	0
その他	1,211,500,000	14,200,000	1,197,300,000
⑥ 負担金収入	8,720,000	11,272,000	▲ 2,552,000
⑦ 受取利息			0
⑧ 雑収入	280,000	7,660,000	▲ 7,380,000
経常収益計	3,098,266,370	1,650,264,000	1,448,002,370
2. 経常費用			
事業費			
① 給料手当	77,028,000	84,000,000	▲ 6,972,000
② 福利厚生費	9,240,000	10,920,000	▲ 1,680,000
③ 退職給付費用	3,108,000	2,772,000	336,000
④ 旅費	668,185,690	528,948,000	139,237,690
⑤ 諸謝金	81,372,000	65,878,000	15,494,000
⑥ 雑役務費	1,364,503,485	441,851,000	922,652,485
⑦ 表彰・記念費	31,995,919	60,604,000	▲ 28,608,081
⑧ 借損料	176,233,751	98,023,000	78,210,751
⑨ 通信運搬費	8,032,173	9,439,000	▲ 1,406,827
⑩ 消耗品費	169,037,238	23,563,500	145,473,738
⑪ 印刷製本費	89,163,720	30,328,000	58,835,720
⑫ 会議費	22,100,000	2,520,000	19,580,000
⑬ 水道光熱費	229,500		229,500
⑭ 保険料	8,854,297	9,671,000	▲ 816,703
⑮ 租税公課	30,036,000	44,045,000	▲ 14,009,000
⑯ 支払手数料	7,563,023	8,790,000	▲ 1,226,977
⑰ 支払補助金	7,180,000	9,470,000	▲ 2,290,000
⑱ 外注費	62,187,990	32,160,000	30,027,990
⑲ 交際費	400,000	400,000	0
⑳ 参加費	8,222,520	7,235,000	987,520
㉑ 雑費	201,685,360	112,880,000	88,805,360
㉒ 什器備品費	65,000		65,000
㉓ 支払賞金	7,350,000		7,350,000
㉔ 会費	50,000		50,000
事業費計	3,033,823,666	1,583,497,500	1,450,326,166

管 理 費			
① 給料手当	14,672,000	16,000,000	▲ 1,328,000
② 福利厚生費	1,760,000	2,080,000	▲ 320,000
③ 退職給付費用	592,000	528,000	64,000
④ 交際費	600,000	600,000	0
⑤ 通信運搬費	900,000	1,100,000	▲ 200,000
⑥ 旅費交通費	270,000	810,000	▲ 540,000
⑦ 賃借料	4,700,000	4,560,000	140,000
⑧ 租税公課	84,000	105,000	▲ 21,000
⑨ 消耗品費	855,000	2,035,500	▲ 1,180,500
⑩ 印刷製本費			0
⑪ 会議費	3,900,000	4,680,000	▲ 780,000
⑫ 水道光熱費	40,500		40,500
⑬ 保険料	80,000	70,000	10,000
⑭ 什器備品費	35,000		35,000
⑮ 会費	600,000	608,000	▲ 8,000
⑯ 支払手数料	1,350,000	90,000	1,260,000
⑰ 支払報酬	2,900,000	2,500,000	400,000
⑱ 外注費	2,400,000	2,880,000	▲ 480,000
⑲ 雑費	30,000	90,000	▲ 60,000
管 理 費 計	35,768,500	38,736,500	▲ 2,968,000
経 常 費 用 計	3,069,592,166	1,622,234,000	1,447,358,166
当 期 経 常 増 減 額	28,674,204	28,030,000	644,204
Ⅱ. 経常外増減の部	0	0	0
1. 経常外収益	0	0	0
2. 経常外費用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	28,674,204	28,030,000	644,204
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
正味財産期末残高	792,335,444	565,435,141	226,900,303